

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？晴れている日は、ポカポカ陽気でとても気持ちのいい季節ですね。4月の始めなのに、もう桜の花見の季節が通りすぎてしまい、なんか調子

が悪く感じるのは私だけでしょうか？ただ、山梨県の一宮町では、これから、桃の花のシーズンになります。桜の花よりもピンクかかって、中央道の両側でお目にかかることが出来ます。ホントに綺麗な景色です。ついつい車の運転中も見とれてしまう堀内貢次です。

「笑いヨガ講座」

先日、ヨガの勉強の一環で、「笑いヨガ、リーダー養成講座」というものを受けてきました。「笑い」を、体操として行い、更に、呼吸を取り入れていくので、「笑いヨガ」と呼ばれているようです。初めは、いろいろなポーズの後に笑うことが必要なので、顔が引きつってしまい、こわばったような笑いしか出来なかったのですが、後半からは、段々と慣れ

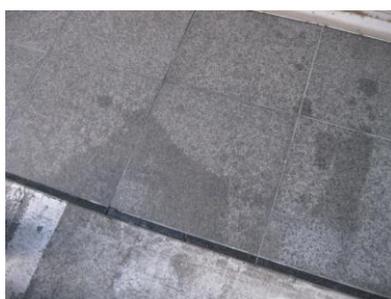
てきて、自然に笑うことが出来るようになってきました。「笑い」は、代謝が高まり、身体がポカポカするのを体感できるし、見知らぬ人たちの集まりでしたが、笑いを介して人との距離が縮まるので、これからどんどん伸びていくヨガなのだな～と実感しました。



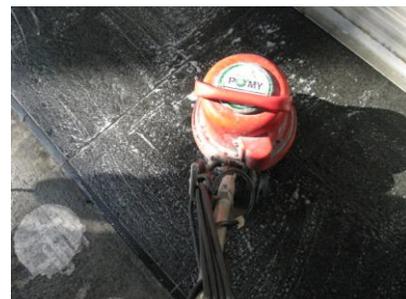
「黒御影石バーナーの油シミ抜き」

ある店舗の入り口部分に油のシミが付いてしまい、濃い濡れシミになってしまっています。夜間に放置してあった、ゴミ袋に穴が開いてあったようで、朝まで油分が溢れ出て、石に濃いシミを作ってしまったようです。放置時間が長いほど、石の目深くまでシミが入り込むので、こうなると、普通の表面洗浄だけでは、油分等の汚れは取りきれないので厄介です。対処として、シミ以外の汚れも付着しているので、まず、全体洗いをします。十分に乾燥させて、油シミとして残っている部分へ、シミ抜き剤を塗布していき、そのまま30分～60分くらい放置して、石目深くまで入り込んだシミを分解させていきます。最後に、シミ抜き剤を回収して、すすぎ洗いを充分にしてから、再度、乾燥状態を確認します。一度で取

りきれないような深いシミは、再度、同じ工程を踏み、シミ抜きを繰り返して除去していきます。



1. 油シミ



2. 全体洗浄



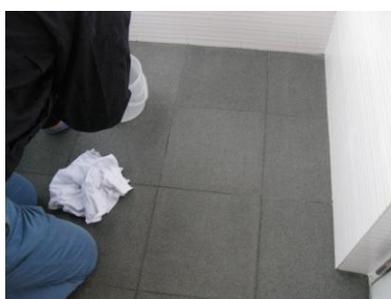
3. シミ抜き剤塗布



4. 油シミ抜き完了後

「黒御影石のウェットコート塗布」

マンションの浴室に黒御影石(山西黒)が敷いてあります。色味が出したいとの希望で、ウェットコートを塗布してきました。全体的に、黒味が強調されて、しっとり、落ち着いた感じに仕上がります。ただ、石の濃淡が強調されるために、元々色味が濃い部分は、更に濃くなり、全体的には、一枚ずつで差が出る仕上がりになる時もあります。



(編集後記) この時期は、洗車や洗濯をしても、黄砂が付着して、汚れて嫌になりますね。でも黄砂は、成分がアルカリ性との事で酸性雨を中和したり、太陽光を遮断して温暖化防止になったりとか、いい面もあるようですよ！(^_^)

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp